

名称	<h1 style="text-align: center;">ジクロロベンジジン及びその塩</h1> $\text{NH}_2\text{ClC}_6\text{H}_3\text{C}_6\text{H}_3\text{ClNH}_2$
人体に及ぼす作用	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 皮膚に接触すると色素沈着を起こす。 ◎ 動物実験では発がん性が確認されているが、人体症例はいまだ報告は無い。 ◎ 経皮吸収で中毒のおそれがある。
取り扱い上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 容器は密栓する。
保護具	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 防じんマスク、保護眼鏡、労働衛生保護手袋、保護長靴、皮膚が露出しない作業衣などを使用する。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 消火方法：泡・炭酸ガス・粉末消火剤、乾燥砂。 ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗眼し、眼科医の手当を受ける。 ◎ 皮膚に付いた場合：石けん水で十分に洗い落とす。

名称	<h1 style="text-align: center;">アルファ-ナフチルアミンおよびその塩</h1> $\text{C}_{10}\text{H}_7\text{NH}_2$
人体に及ぼす作用	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 純粋な α-ナフチルアミンの有害性は高い。 ◎ 呼吸器、消火器及び皮膚から、粉じん、ガス、蒸気及び液体の形で体内に吸収される。 ◎ α-ナフチルアミンの粉じんや蒸気に暴露されていると、長い年月の間に膀胱、尿管、腎臓などに腫瘍が発生することがある。 ◎ 暴露開始から腫瘍発生までの潜伏期間は平均 2・3 年ぐらいといわれている。
取り扱い上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 高熱、火炎によって燃え、有毒の NO_xを発生する。 ◎ 粉じんを吸い込まないように、製造設備は密閉式とし、排気処理を厳重に行う。 ◎ 作業衣はたびたび洗濯し、作業が終わったら入浴、うがい、洗顔を行う。
保護具	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 有機ガス用防毒マスク、保護眼鏡、労働衛生保護手袋、保護長靴、保護服などを使用する。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 消火方法：炭酸ガス・粉末消火剤、注水。 ◎ 皮膚に付いた場合：直ちに大量の水でよく洗う。

名称	<h1 style="text-align: center;">オルト-トリジンおよびその塩</h1> <p style="text-align: center;">$C_{14}H_{16}N_2$</p>
人体に及ぼす作用	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 人体に対する障害の詳細は不明であるが、動物実験では発がん性があるとされている。 ◎ 経皮吸収がある。
取り扱い上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 容器は密栓して冷暗所に保管する。 ◎ 製造設備は密閉式とする。 ◎ 作業衣は洗濯し、作業後は入浴する。
保護具	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 防じんマスク、保護眼鏡、皮膚の露出しない作業衣などを使用する。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 消火方法：注水消火。 ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗眼し、眼科医の手当を受ける。 ◎ 皮膚に付いた場合：流水で十分に洗い落とす。

<p>名称</p>	<p style="text-align: center;">ジアニシジンおよびその塩 (C₆H₃(OCH₃)NH₂)₂</p>
<p>人体に及ぼす作用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 人体に対する障害の詳細は不明であるが、皮膚に接触すると皮膚炎を起こす。 ◎ 動物実験で腫瘍の発生が確認されている。
<p>取り扱い上の注意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 加熱した際に燃える。 ◎ 容器は密栓し保管する。 ◎ 作業衣は洗濯し、作業後は入浴する。
<p>保護具</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 防じんマスク、労働衛生保護手袋、保護服などを使用する。
<p>応急処置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 消火方法：注水、泡・炭酸ガス・粉末消火剤。 ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗眼し、眼科医の手当を受ける。 ◎ 皮膚に付いた場合：石けん水で洗う。

ベリリウムおよびその化合物

Be

名称

人体に及ぼす作用

- ◎ 蒸気あるいは粉じんとして呼吸器から吸収され中毒症状を起こす。
- ◎ 中毒作用は主に肺障害であり、急性の場合は金属熱に似た症状、気管支炎、呼吸困難、チアノーゼを示すが数日又は数週間で治癒する。
- ◎ 慢性障害で症状発現は徐々であり、せき、たん、呼吸困難、体重減少が現れ肺肉芽腫(ベリリウム肺)が生じる。
- ◎ 局所作用として、皮膚炎、皮膚の潰瘍、結膜炎、角膜炎を起こす。
- ◎ 動物実験ではラットに発がんの報告がある。

取り扱い上の注意事項

- ◎ 金属ベリリウムは水や酸と反応して引火し爆発性のある水素を発生する。高熱、火炎によって燃え、有毒のNO_xを発生する。
- ◎ 作業場は電気掃除機などにより清潔にし、発じんを極力抑える。
- ◎ 作業衣はたびたび洗濯する。

保護具

- ◎ 防じんマスク、労働衛生保護手袋、保護長靴、皮膚の露出しない作業衣などを使用する。

応急処置

- ◎ 目に入った場合: 流水で十分の洗い、眼科医の診察を受ける。
- ◎ 皮膚に付いた場合: 直ちに水で洗い落とし、ササクレなどがあれば、速やかに医師の診察を受ける。

名称	<h1 style="text-align: center;">ベンゾトリクロリド</h1> <h2 style="text-align: center;">C₆H₅CCl₃</h2>
人体に及ぼす作用	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 皮膚、粘膜を刺激する。 ◎ 中枢神経障害を起こす。 ◎ 動物実験では皮膚がん、肝がんの発生が見いだされている。
取り扱い上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 容器は密閉し一定の場所に保管すること。
保護具	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 有機ガス用防毒マスク、労働衛生保護手袋などを使用する。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗眼し、眼科医の処置を受ける。 ◎ 皮膚に付いた場合：直ちに流水で十分に洗い落とす。

<p>名称</p>	<p style="text-align: center;">エチレンオキシド $\begin{array}{c} \text{CH}_2 - \text{CH}_2 \\ \quad \quad \backslash \quad / \\ \quad \quad \text{O} \end{array}$</p>
<p>人体に及ぼす作用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 濃厚な液体が皮膚に付くと、水泡ができる。 ◎ 目に入ると角膜炎を起こすことがある。 ◎ 蒸気を吸入すると、低濃度の場合は、悪心、吐き気、高濃度の場合は、目、皮膚、粘膜を刺激する。 ◎ 多量に吸入すると、麻酔作用を起こし死亡することもある。
<p>取り扱い上の注意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 引火点が低だけでなく爆発限界(3.0-100%)が非常に広い。 ◎ 蒸気は、空気や酸素が全然存在しないところでも分解爆発を起こすことがある。 ◎ 充てんポンベは、直射日光を避け、換気のよい冷所に保管する。 ◎ 火気厳禁。 ◎ 電気設備は、防爆構造にするのが望ましい。 ◎ 漏洩の有無を点検する。 ◎ ポンベは爆発防止のため不活性ガスが封入されているので、使用に際しては、ポンベを横置きとしサイホン管は下向きとする。 ◎ 火花の出ない工具を用いる。
<p>保護具</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、保護眼鏡、保護手袋などを使用する。
<p>応急処置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 消火方法：炭酸ガス・粉末消火剤、耐アルコール性泡、またポンベを水で冷却。 ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗眼し、眼科医の診察を受ける。 ◎ めまいの自覚症状が現れた場合：医師の手当を受ける。

<p>名称</p>	<p style="text-align: center;">エチレンジイミン $\begin{array}{c} \text{CH}_2 - \text{CH}_2 \\ \quad \quad \backslash \text{NH} / \end{array}$</p>
<p>人体に及ぼす作用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 粘膜や皮膚に触れると、激しい薬傷を起こす。 ◎ 目に入ると角膜の損傷を起こす。 ◎ 吸入すると、呼吸器、肺の炎症を起こす。 ◎ 体内に吸収されると骨髄の障害が起こり、白血球数が減少する。 ◎ 人間が臭気感知できる濃度は 2 ppm である。
<p>取り扱い上の注意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 非常に引火しやすく、爆発限界(3.6-46%)が広いので注意を要する。 ◎ 触媒や酸化物の存在や熱によって激しく反応する。酸、酸化性物質とは爆発的に重合する。 ◎ 蒸気の発散を抑え、作業環境を許容濃度以下に保つ。 ◎ 容器は密閉し、漏洩しないように保管する。 ◎ 火気厳禁。
<p>保護具</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 有機ガス用防毒マスク、保護眼鏡、労働衛生保護手袋などを使用する。
<p>応急処置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 消火方法：水の噴霧、泡・炭酸ガス・粉末消火剤。 ◎ 吸入した場合：速やかに医師の診察を受ける。 ◎ 目に入った場合：直ちに大量の水で洗い、希ホウ酸水で洗眼する。 ◎ 皮膚に付いた場合：石けん水で十分に洗い、医師の診察を受ける。

名称	<h1 style="text-align: center;">塩化ビニル</h1> <h2 style="text-align: center;">CH₂=CHCl</h2>
人体に及ぼす作用	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 比較的低濃度(200-300 ppm)で肝機能の変化、皮膚障害、レイノー様症状及び骨端溶解などが起こる。 ◎ 30分間以上暴露すると危険な濃度は 3000 ppm である。
取り扱い上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 空気と爆発性混合ガスを作る。爆発限界 3.6-23.0%。 ◎ 充てんポンベは、直射日光を避け、通気のよい場所に置く。 ◎ 火気厳禁。 ◎ 酸素と一緒に置かない。漏えいの有無を確実に点検する。 ◎ 液やガスに接触する部分に、銅またはそれらの合金を使用しない。
保護具	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 有機ガス用防毒マスクなどを使用する。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 消火方法:炭酸ガス・粉末消火剤、注水、爆発性混合気を作らないよう注意。 ◎ 皮膚に付いた場合:直ちに石けん水で洗浄し、多量の水で洗い流す。 ◎ 目に入った場合:直ちに多量の水でよく洗眼する。 ◎ 吸入した場合:直ちに患者を毛布等にくるんで酸性にさせ、新鮮な空気の場所に移す。呼吸困難または呼吸が停止しているときは、人工呼吸を行う。

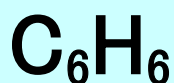
名称	<p style="text-align: center;"> クロロメチルメチルエーテル CH₃OCH₂Cl </p>
人体に及ぼす作用	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 目や皮膚に付着すると火傷、壊死を起こす。 ◎ 発がん性があるとされている。
取り扱い上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 容器は換気の良いところに貯蔵する。 ◎ 火気厳禁。
保護具	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 有機ガス用防毒マスク、保護眼鏡、労働衛生保護手袋などを使用する。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 消火方法：泡、炭酸ガス、粉末消火剤。 ◎ 皮膚に付いた場合：直ちに石けん水で十分に洗う。 ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗った後、必要があれば眼科医の診察を受ける。 ◎ 漏えいした場合：消石灰などの中和剤で処理した後、大量の水で洗い流す。

名称	<p>3,3' -ジクロロ-4,4' -ジアミノジフェニルメタン</p> <p>$\text{CH}_2(\text{C}_6\text{H}_3\text{Cl}(\text{NH}_2))_2$</p>
人体に及ぼす作用	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 人体に対しては芳香族アミンの一般毒性を示し、異常摂取により肝障害(がん)の発生が立証されつつある。 ◎ 動物実験では肝がん、肺がんが証明されている。
取り扱い上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 容器は密栓して保管する。
保護具	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 防じんマスク、労働衛生保護手袋などを使用する。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 皮膚に付いた場合：流水で洗う。 ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗い、眼科医の診察を受ける。

名称	<p style="text-align: center;">パラ-ジメチルアミノアゾベンゼン</p> <p style="text-align: center;">$C_6H_5-N=N-C_6H_4-N(CH_3)_2$</p>
人体に及ぼす作用	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ラットに対する試験では肝臓がんが証明されており、ばく露により肝臓がん、膀胱がんの危険性がある。 ◎ 経口的に、多量に摂取した場合、嘔吐、頭痛が起こる場合がある。
取り扱い上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 容器は密栓して保管する。
保護具	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 防じんマスク、労働衛生保護手袋などを使用する。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 皮膚に付いた場合：流水で洗う。 ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗い、眼科医の診察を受ける。

名称	<h1 style="text-align: center;">ベータ-プロピオラクトン</h1> $\text{CH}_2\text{CH}_2\text{COO}$
人体に及ぼす作用	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 動物実験において、ある条件下で悪性腫瘍が認められている。蒸気の曝露を受けると症状としては、皮膚刺激、肝障害があるという。さらに皮膚がんが疑われている。
取り扱い上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 爆発下限界 2.9%。 ◎ 反応性が強いいため危険である。 ◎ 容器は換気のよい場所に貯蔵する。 ◎ 火気厳禁。
保護具	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 有機ガス用防毒マスク、労働衛生保護手袋などを使用する。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 消火方法：泡・炭酸ガス・粉末消火器 反応性が高いため消火には注意を要する。 ◎ 皮膚に付いた場合：直ちに流水で十分に洗い、石けんでさらによく洗う。 ◎ 目に入った場合：直ちに流水で十分に洗い、眼科医の診察を受ける。 ◎ 漏えいした場合：大量の水で洗い流す。その後容器の中に水が入らないようにする。

ベンゼン



名称

人体に及ぼす作用

- ◎ 嗅覚の閾値は 1.5 ppm、500 ppm/6hr で頭痛が生じ、濃度 2%では 5～10 分で死亡する。
- ◎ 30 分間以上暴露すると危険な濃度は 3000 ppm である。
- ◎ 目に対して、蒸気・液とも中程度の刺激性がある。
- ◎ 皮膚に対しても弱い刺激性がある。繰り返しの接触により脱脂症状を生ずる。
- ◎ 高濃度下の作業により骨髄機能の低下による再生不良性貧血が報告されている。
- ◎ ベンゼン暴露と骨髄性白血病の因果関係が立証されている。

取り扱い上の注意事項

- ◎ 取扱い中は、できるだけ風上から作業し、暴露防止に充分注意する。
- ◎ 適切な保護具を着用し、吸入を防ぎ身体に触れないようにする。
- ◎ 蒸気の発散を抑え、作業環境を許容濃度以下に保つ。
- ◎ 取扱い後は手洗い・洗顔を行い、衣服に付着した場合は着替える。
- ◎ 引火しやすいので、取扱い時は火気源(生火・アーク・高温物)を使用しない。
- ◎ 直射日光を避け、通風の良い、冷暗所に保管する。

保護具

- ◎ 有機ガス用防毒マスク、濃度が高い場合は送気マスク又は空気呼吸器、保護眼鏡または防災面、耐薬品性(不浸透性)手袋、耐薬品性長靴、前掛(静電気防止対策用)などを着用する。

応急処置

- ◎ 消火方法:泡・炭酸ガス・粉末消火剤、乾燥砂。
- ◎ 目に入った場合:流水で十分に洗眼し、眼科医の手当を受ける。
- ◎ 皮膚に付いた場合:多量の水または石けん水で十分に洗い落とす。
- ◎ 疲労、頭痛などの自覚症状が現れた場合:医師の手当を受ける。

<p>名称</p>	<p style="text-align: center;">ニッケルカルボニル</p> <p style="text-align: center;">Ni(CO)₄</p>
<p>人体に及ぼす作用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 吸入直後の初発症状と、12～36 時間後に現れる遅発症状がある。初発症状は安静に保てば自然に治癒する程度のめまい、頭痛、だるさ、吐き気、嘔吐、のどの刺激、胸部圧迫感など。遅発症状は体を動かしたことをきっかけに現れ、急激に増量する嘔吐、頭痛、呼吸困難、せき、胸痛、発熱などである。数日後に、肺水腫、肺炎で死亡することもある。 ◎ 最初の安静が特に大事である。
<p>取り扱い上の注意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 爆発の危険性があり、爆発限界 2%。空気中で酸化し 60℃で爆発する。 ◎ 塩酸、硝酸、濃硫酸とは爆発的に反応する。 ◎ 換気良好な冷暗所に貯蔵する。
<p>保護具</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 揮発性が高く極めて有毒であるから、特にその取り扱いは慎重を要し、送気マスクなどを使用する必要がある。皮膚を露出せず体全体を防護した上で作業する必要がある。
<p>応急処置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 吸入した場合：濃厚な蒸気を吸入したら、新鮮な空気のある場所に移し、呼吸困難を起こしている場合は直ちに酸素吸入を施し、医師の診察を受けさせる。原則として入院させて数日経過を見る必要がある。 ◎ 頭痛などの自覚症状が現れた場合：速やかに医師の診察を受ける。

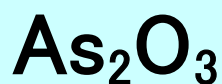
名称	<h1 style="text-align: center;">オーラミン</h1> <h2 style="text-align: center;">C₁₇H₂₂CIN₃</h2>
人体に及ぼす作用	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 人体への影響については詳細は不明である。 ◎ 経口投与による動物実験で肝臓がんの発生例がある。 ◎ 疫学的に膀胱がんの発生の可能性が示唆されている。
取り扱い上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 容器は密栓し保管する。 ◎ 製品の湿式化、液化を考える。 ◎ 作業衣は時々洗濯し、作業後は、入浴、うがい、洗眼を行う。
保護具	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 労働衛生保護手袋、保護服、保護眼鏡などを使用し、皮膚を露出しないようにする。 ◎ 発じんする場所では、防じんマスクまたは送気マスクを使用する。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 消火方法：注水、泡・炭酸ガス・粉末消火剤。 ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗眼し、眼科医の手当を受ける。 ◎ 皮膚に付いた場合：石けん水で洗う。

名称	<p style="text-align: center;">マゼンダ</p> <p style="text-align: center;">C₂₀H₂₀N₃Cl</p>
人体に及ぼす作用	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 膀胱がんを起こすといわれているが詳細は不明である。 ◎ マゼンダ製造の原料としてアニリン、ニトロベンゼン、パラトルイジン、オリトルイジン、塩素を使用するので、その製造過程におけるそれぞれの危険・有害性を考慮する必要がある。
取り扱い上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 容器は密栓し保管する。 ◎ 作業後は、入浴、うがい、洗眼を行う。
保護具	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 労働衛生保護手袋、保護服などを使用し、皮膚を露出しないようにする。 ◎ 保護服はときどき洗濯をする。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 消火方法：注水、泡・炭酸ガス・粉末消火剤。 ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗い、眼科医の診察を受ける。 ◎ 皮膚に付いた場合：直ちに大量の流水で洗い落とす。

<p>名称</p>	<h1 style="text-align: center;">クロム酸及びその塩</h1>
<p>人体に及ぼす作用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ クロム酸塩(六価クロム)は強い酸化性を持ち、皮膚・粘膜を強く腐食し、皮膚炎、クロム潰瘍を起こす。 ◎ 粉じん、ミストを吸入すると、鼻粘膜の炎症、また、潰瘍や鼻中隔穿孔をおこす。 ◎ クロム酸塩により肺がんの危険性があるとされている。
<p>取り扱い上の注意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 強酸化剤であるので、各種の有機物と接触させたり、還元剤と一緒にすると激しく反応し、発火または爆発を起こすことがある。 ◎ 有機物・還元剤と一緒に置かない。 ◎ 火気厳禁。
<p>保護具</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 防じんマスク、保護眼鏡、保護前掛、労働衛生保護手袋、保護長靴などを使用する。
<p>応急処置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 消火方法：水の噴霧、泡・炭酸ガス・粉末消火剤。 ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗眼し、眼科医の手当を受ける。 ◎ 皮膚に付いた場合：流水で十分に洗い、医師の手当を受ける。

<p>名称</p>	<h1 style="text-align: center;">コールタール</h1>
<p>人体に及ぼす作用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 加熱したコールタールの蒸気を吸入すると、せき、めまい、食欲不振、悪心、吐き気、呼吸困難などが起こり、重症の場合には貧血を起こす。また、けいれん、失神、肺水腫、腎炎、中枢神経障害を起こすこともある。 ◎ コールタールに接触すると光過敏症が起こり、紅斑火傷、潰瘍、露出部が黒ずんでくる色素異常を起こす。 ◎ 一次性刺激またはアレルギー性過敏症などから粉じん、ミストを吸入すると、鼻粘膜の炎症、また、潰瘍や鼻中隔穿孔をおこす。 ◎ 皮膚がん、肺がん発生のおそれがある。
<p>取り扱い上の注意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 可燃性の液体で、加熱状態にあるときには特に引火の恐れがある。 ◎ 冷暗所に密栓して保管する。 ◎ 作業場は換気を十分に行う。
<p>保護具</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 防じんマスク、保護眼鏡、保護前掛、労働衛生保護手袋、保護長靴などを使用する。 ◎ 光過敏性皮膚炎の防止には、保護服の使用、亜鉛華軟膏の塗布が必要である
<p>応急処置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 消火方法：泡・炭酸ガス消火剤。 ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗眼し、眼科医の手当を受ける。 ◎ 皮膚に付いた場合：直ちに大量の石けん水で洗う。 ◎ 吸入した場合：濃厚な蒸気を吸入したら、新鮮な空気のある場所に移し、医師の診断を受ける。

三酸化ヒ素



名称

人体に及ぼす作用

- ◎ 加熱したり、酸と反応するとヒ素の有害なヒュームを出す。
- ◎ 代表的毒物で致死量は 0.1~0.3g である。
- ◎ 多くは慢性中毒である。はじめは食欲不振、吐き気などがあり、次いで皮膚、粘膜の乾燥、頭痛、抹消神経痛、知覚神経障害などがある。内臓が侵され、重度の貧血、心臓麻痺であおれる。
- ◎ 急性中毒は麻酔型(意識不明、ショックなど)と胃腸型(腹痛、嘔吐、口渇など)の二つの型があり、数時間ないし数日で死亡する。
- ◎ 皮膚に発がんのおそれがあるとされている。

取り扱い上の注意事項

- ◎ 容器は密栓して貯蔵する。
- ◎ 製造・反応・運搬の各装置はできるだけ密閉化する。
- ◎ 作業後に入浴、うがいを行い、身体を清潔にする。

保護具

- ◎ 防じんマスク、保護眼鏡、保護長靴、皮膚の露出しない作業衣などを使用する。

応急処置

- ◎ 飲み下した場合: 胃洗浄を行う。胃洗浄の際は、塩化鉄にアンモニア水を加えて新たに沈殿させた水酸化鉄を用いる。
- ◎ 目に入った場合: 流水で十分に洗眼し、眼科医の手当を受ける。
- ◎ 皮膚に付いた場合: 直ちに大量の流水で洗う。

<p>名称</p>	<h1 style="text-align: center;">重クロム酸及びその塩</h1>
<p>人体に及ぼす作用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ クロム酸塩(六価クロム)は強い参加性を持ち、皮膚粘膜を強く腐食し、皮膚炎、クロム潰瘍を起こす。 ◎ 粉じん、ミストを吸入すると、鼻粘膜の炎症、また、潰瘍や鼻中隔穿孔をおこす。 ◎ クロム酸塩により肺がんの危険性があるとされている。
<p>取り扱い上の注意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 強酸化剤であるので、各種の有機物と接触させたり、還元剤と一緒にすると激しく反応し、発火または爆発を起こすことがある。 ◎ 有機物・還元剤と一緒に置かない。 ◎ 火気厳禁。
<p>保護具</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 防じんマスク、保護眼鏡、保護前掛、労働衛生保護手袋、保護長靴などを使用する。
<p>応急処置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 消火方法：水の噴霧、泡・炭酸ガス・粉末消火剤。 ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗眼し、眼科医の手当を受ける。 ◎ 皮膚に付いた場合：流水で十分に洗い、医師の手当を受ける。

ニッケル化合物

(ニッケルカルボニルを除き、粉状のものに限る)

※詳細は物質によって異なるので注意

名称

人体に及ぼす作用

- ◎ 飲み込むと有毒である。
- ◎ 吸入によりアレルギー、喘息、呼吸困難のおそれがある。
- ◎ 眼に対する刺激性がある。
- ◎ 皮膚感作性があり、アレルギー性皮膚炎を起こす可能性がある。
- ◎ 生殖毒性、胎児への悪影響のおそれがある。
- ◎ 物質によっては標的臓器障害性がある(中枢神経、呼吸器、腎臓、精巣、肝臓等)。
- ◎ 発がん性がある。

取り扱い上の注意事項

- ◎ 容器は密栓して貯蔵する。
- ◎ 冷暗所に保管する。
- ◎ みだりに粉じん、ヒューム、ミスト等が発生、発散しないように取り扱う。
- ◎ 硝酸ニッケル(II)は酸化性物質であるため可燃物との接触をさける。

保護具

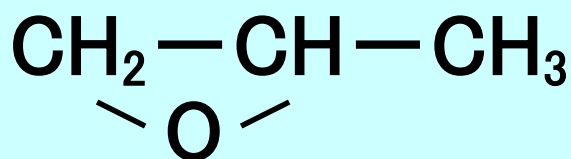
- ◎ 防じんマスク、保護眼鏡、労働衛生保護手袋、皮膚の露出しない作業衣などを使用する。

応急処置

- ◎ 飲み下した場合:口をすすぎ、可能ならば吐き出させ、医師の処置を受ける。
- ◎ 目に入った場合:流水で十分に洗眼し、眼科医の手当を受ける。
- ◎ 皮膚に付いた場合:大量の流水で洗う。
- ◎ 吸入した場合:新鮮な空気の場合に移動、安静にし、医師の処置を受ける。

名称	<h1 style="text-align: center;">砒素及びその化合物</h1> <p style="text-align: center;">(アルシン及び砒化ガリウムを除く)</p> <p style="text-align: center;">※詳細は物質によって異なるので注意</p>
人体に及ぼす作用	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 飲み込むと有毒である。 ◎ 生殖毒性、胎児への悪影響のおそれがある。 ◎ 物質によっては標的臓器障害性がある(中枢神経、呼吸器、腎臓、精巣、肝臓等)。 ◎ 発がん性がある。
取り扱い上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 容器は密栓して貯蔵する。 ◎ 冷暗所に保管する。 ◎ みだりに粉じん、ヒューム、ミスト等が発生、発散しないように取り扱う。
保護具	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 防じんマスク、保護眼鏡、労働衛生保護手袋、皮膚の露出しない作業衣などを使用する。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 飲み下した場合: 口をすすぎ、可能ならば吐き出させ、医師の処置を受ける。 ◎ 目に入った場合: 流水で十分に洗眼し、眼科医の手当を受ける。 ◎ 皮膚に付いた場合: 大量の流水で洗う。

酸化プロピレン (別名:プロピレンオキサイド)



名称

人体に及ぼす作用

- ◎ 飲み込むと有毒である。
- ◎ 眼に対する重篤な損傷性がある。
- ◎ 皮膚に触れると腐食性があり、熱傷をおこす。アレルギー性皮膚炎を起こすおそれがある。
- ◎ 吸入すると生命に危険がある。咳、咽頭痛などを起こす。
- ◎ 遺伝性疾患、生殖能、胎児への悪影響のおそれがある。
- ◎ 発がん性が疑われる。

取り扱い上の注意事項

- ◎ 容器は密栓して貯蔵する。
- ◎ きわめて気化しやすい(沸点 34℃)ことに注意し、冷暗所に保管する。
- ◎ 火気厳禁。
- ◎ 取り扱い後は手をよく洗う。

保護具

- ◎ 呼吸用保護具、保護眼鏡、労働衛生保護手袋、皮膚の露出しない作業衣などを使用する。

応急処置

- ◎ 消化方法:泡・粉末・二酸化炭素消火器、乾燥砂
- ◎ 吸入した場合:新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいさせる。
- ◎ 飲み下した場合:口をすすぎ、速やかに医師の処置を受ける。吸引の危険性が増すので、吐き出させない。
- ◎ 目に入った場合:流水で十分に洗眼し、眼科医の手当を受ける。
- ◎ 皮膚に付いた場合:大量の流水で洗う。
- ◎ 応急処置をする者の保護:ゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

<p>名称</p>	<p style="text-align: center;">1・1-ジメチルヒドラジン</p> $\begin{array}{c} \text{CH}_3 \diagdown \\ \text{N-NH}_2 \\ \text{CH}_3 \diagup \end{array}$
<p>人体に及ぼす作用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 飲み込むと有毒である。 ◎ 眼に対する重篤な損傷性、刺激性がある。 ◎ 皮膚に触れると腐食性があり、熱傷をおこす。 ◎ 吸入すると生命に危険がある。 ◎ 反復暴露により肝臓、神経系、血液、腎臓の障害を起こす。 ◎ 遺伝性疾患、生殖能、胎児への悪影響のおそれがある。 ◎ 発がん性が疑われる。
<p>取り扱い上の注意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 容器は密栓して貯蔵する。 ◎ 火気厳禁
<p>保護具</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 呼吸用保護具、保護眼鏡、労働衛生保護手袋、皮膚の露出しない作業衣などを使用する。
<p>応急処置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し、休息させる。直ちに医師の処置を受ける。 ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗眼し、眼科医の手当を受ける。 ◎ 皮膚に付いた場合：大量の流水で洗う。

名称	<h1 style="text-align: center;">ホルムアルデヒド</h1> <h2 style="text-align: center;">CH₂O</h2>
人体に及ぼす作用	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 引火性の高いガス・可燃性の液体である。 ◎ 飲み込むと有毒である。 ◎ 眼に対する強い刺激性がある。 ◎ 皮膚に触れると有毒である。 ◎ 吸入すると生命に危険がある。 ◎ アレルギー性皮膚反応を起こすおそれがある。 ◎ 長期・反復暴露により呼吸器系、中枢神経系の障害を起こす。 ◎ 遺伝性疾患のおそれが疑われる。 ◎ 発がん性が疑われる。
取り扱い上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 火気厳禁 ◎ 日光から遮断し、容器を密閉して、よく換気された冷所で保管する。 ◎ 取り扱い後はよく手を洗うこと。
保護具	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 呼吸用保護具、保護眼鏡、労働衛生保護手袋、皮膚の露出しない作業衣などを使用する。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 消火方法：粉末消火剤、二酸化炭素、散水 ◎ 吸入した場合：新鮮な空気の場所に移し、休息させる。直ちに医師の処置を受ける。 ◎ 目に入った場合：流水で数分間注意深く洗眼する。 ◎ 皮膚に付いた場合：大量の流水と石鹼で洗う。気分がすぐれない場合は医師に連絡する。 ◎ 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡する。口をすすぐ。

名称	<h1 style="text-align: center;">ジメチル-2・2-ジクロロビニルホスフェイト (DDVP)</h1>
人体に及ぼす作用	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 飲み込むと有毒である。 ◎ 皮膚に触れると生命に危険がある。 ◎ 吸入すると生命に危険がある。 ◎ 軽度の皮膚刺激がある。 ◎ 眼刺激がある。 ◎ アレルギー性皮膚反応を起こすおそれがある。 ◎ 神経系の障害を起こす。 ◎ 長期・反復暴露により肝臓、神経系の障害を起こすおそれがある。 ◎ 発がん性が疑われる。
取り扱い上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 換気の良い区域でのみ使用する。 ◎ 容器は密栓して換気の良い場所で貯蔵する。 ◎ 取り扱い後はよく手を洗う。
保護具	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 呼吸用保護具、保護眼鏡、労働衛生保護手袋、皮膚の露出しない作業衣などを使用する。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ばく露した場合：医師の診断と手当を受ける。 ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗眼する。刺激が続く場合、眼科医の手当を受ける。 ◎ 皮膚に付いた場合：多量の水と石鹼で洗う。ただちに医師に連絡する。 ◎ 飲み込んだ場合：すぐに医師に連絡する。口をすすぐ。

インジウム化合物

名称

人体に及ぼす作用

- ◎ 飲み込むと有毒のおそれがある。
- ◎ 長期・反復暴露により肺、骨格、消化管の障害を起こす。

取り扱い上の注意事項

- ◎ 容器は密栓して貯蔵する。
- ◎ 火気厳禁
- ◎ 取り扱い後はよく手を洗うこと
- ◎ 酸化剤から離して保管する。

保護具

- ◎ 呼吸用保護具、保護眼鏡、労働衛生保護手袋、皮膚の露出しない作業衣などを使用する。

応急処置

- ◎ 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し、休息させる。気分が悪いときは医師の処置を受ける。
- ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗眼する。眼の刺激が続く場合は眼科医の手当を受ける。
- ◎ 皮膚に付いた場合：大量の流水で洗う。気分が悪いときは医師に連絡する。
- ◎ 飲み込んだ場合：直に口をすすぎ、医師の診断を受ける。

名称	<h1 style="text-align: center;">コバルト及びその無機化合物</h1>
人体に及ぼす作用	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれがある。 ◎ アレルギー性皮膚反応を起こすおそれがある。 ◎ 呼吸器、神経系、腎臓、肝臓、心臓の障害を起こす。 ◎ 呼吸器への刺激のおそれがある。 ◎ 長期・反復暴露により呼吸器の障害を起こす。 ◎ 生殖能、胎児への悪影響のおそれがある。 ◎ 発がん性が疑われる。
取り扱い上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 容器は密栓して貯蔵する。 ◎ 火気厳禁 ◎ 空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。 ◎ 換気のいい区域でのみ使用すること。 ◎ 取り扱い後はよく手を洗うこと。
保護具	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 呼吸用保護具、保護眼鏡、労働衛生保護手袋、皮膚の露出しない作業衣などを使用する。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 吸入した場合：新鮮な空気の場所に移し、休息させる。医師の手当、診断を受ける。 ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗眼し、眼科医の手当を受ける。 ◎ 皮膚に付いた場合：大量の流水と石鹼で洗う。医師の手当、診断を受ける。 ◎ 飲み込んだ場合：口をすすぐ。医師の手当、診断を受けること。

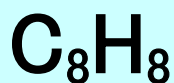
名称	<h1 style="text-align: center;">エチルベンゼン</h1> <h2 style="text-align: center;">C₈H₁₀</h2>
人体に及ぼす作用	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 飲み込み気道に入ると生命に危険のおそれがある。 ◎ 吸入すると有毒。 ◎ 眼に刺激。 ◎ 生殖能、または胎児への悪影響のおそれがある。 ◎ 中枢神経系の障害を起こすおそれがある。 ◎ 呼吸器への刺激のおそれがある。 ◎ 発がん性が疑われる。
取り扱い上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 容器は密栓して、貯蔵する。 ◎ よく換気された冷所で保存する。 ◎ 火気厳禁 ◎ 取り扱い後には顔や手など、ばく露した皮膚を洗う。
保護具	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 呼吸用保護具、保護眼鏡、労働衛生保護手袋、皮膚の露出しない作業衣などを使用する。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し、休息させる。 ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗眼する。 ◎ 皮膚に付いた場合：汚染されたすべての衣服をすぐに脱ぎ、水やシャワーで皮膚を洗う。 ◎ 飲み込んだ場合：すぐに毒劇物センターもしくは医師に連絡する。 ◎ 消化方法：二酸化炭素、粉末消火剤、フォームを使用する。

名称	<h1 style="text-align: center;">1,2-ジクロロプロパン</h1> <h2 style="text-align: center;">C₃H₆Cl₂</h2>
人体に及ぼす作用	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 引火性の高い液体および蒸気である。 ◎ 飲み込むと有毒である。 ◎ 皮膚刺激性、強い眼刺激性がある。 ◎ アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれがある。 ◎ 眠気およびめまいのおそれがある。 ◎ 呼吸器への刺激のおそれがある。 ◎ 長期・反復暴露により肝臓、血液系、腎臓の障害を起こす。 ◎ 生殖能、胎児への悪影響のおそれがある。 ◎ 発がん性が疑われる。
取り扱い上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 火気厳禁 ◎ 容器は密栓して貯蔵する。 ◎ 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 ◎ 換気のいい区域でのみ使用する。 ◎ 取り扱い後はよく手を洗うこと。
保護具	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 呼吸用保護具、保護眼鏡、労働衛生保護手袋、皮膚の露出しない作業衣などを使用する。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 消火方法：泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類 ◎ 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し、休息させる。気分が悪い場合は医師の処置を受ける。 ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗眼する。刺激が続く場合は眼科医の手当を受ける。 ◎ 皮膚に付いた場合：大量の流水と石鹼で洗う。

名称	<h1 style="text-align: center;">クロロホルム</h1> <h2 style="text-align: center;">CHCl₃</h2>
人体に及ぼす作用	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 飲み込むと有毒である。 ◎ 眼に対する重篤な損傷性、刺激性がある。 ◎ 皮膚に触れると重篤な熱傷をおこす。 ◎ 眠気やめまいのおそれがある。 ◎ 長期・反復暴露により肝臓、神経系、血液、腎臓の障害を起こす。 ◎ 遺伝性疾患、生殖能、胎児への悪影響のおそれがある。 ◎ 発がん性が疑われる。
取り扱い上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 容器は密栓して貯蔵する。 ◎ 取り扱い後はよく手を洗う。 ◎ 換気のいい区域でのみ使用する。
保護具	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 呼吸用保護具、保護眼鏡、労働衛生保護手袋、皮膚の露出しない作業衣などを使用する。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し、休息させる。直ちに医師の処置を受ける。 ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗眼し、眼科医の処置を受ける。 ◎ 皮膚に付いた場合：大量の流水で洗う。 ◎ 飲み込んだ場合：口をすすぐ。体調が悪い場合、医師に連絡すること。

名称	<h1 style="text-align: center;">1,2-ジクロロエタン</h1> <h2 style="text-align: center;">C₂H₄Cl₂</h2>
人体に及ぼす作用	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 引火性の高い液体および蒸気である。 ◎ 飲み込むと有毒である。 ◎ 眼に対する刺激性がある。 ◎ 皮膚刺激をおこす。 ◎ 吸入すると有毒である。 ◎ 飲み込んで気道に入ると生命に危険のおそれ ◎ 遺伝性疾患のおそれが疑われる。 ◎ 眠気やめまいのおそれがある。 ◎ 長期・反復暴露により肝臓、神経系、甲状腺、腎臓の障害を起こす。 ◎ 発がん性が疑われる。
取り扱い上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 火気厳禁 ◎ 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 ◎ 容器は密栓して貯蔵する。 ◎ 取り扱い後はよく手を洗うこと。
保護具	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 呼吸用保護具、保護眼鏡、労働衛生保護手袋、皮膚の露出しない作業衣などを使用する。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 消火方法：泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類 ◎ 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し、休息させる。医師に連絡する。 ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗眼し、眼科医の手当を受ける。 ◎ 皮膚に付いた場合：大量の流水で洗う。 ◎ 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡する。口をすすぐ。

スチレン



名称

人体に及ぼす作用

- ◎ 引火性の液体および蒸気である。
- ◎ 飲み込むと有害のおそれがある。
- ◎ 吸入すると有害である。
- ◎ 眼に対する強い刺激性がある。
- ◎ 皮膚刺激。
- ◎ 長期・反復暴露により呼吸器系、肝臓、神経系、血液系の障害を起こす。
- ◎ 遺伝性疾患、生殖能、胎児への悪影響のおそれがある。
- ◎ 飲み込み、気道に入ると生命の危険のおそれがある。
- ◎ 発がん性が疑われる。

取り扱い上の注意事項

- ◎ 火気厳禁
- ◎ 容器は密栓して貯蔵する。
- ◎ 取り扱い後はよく手を洗うこと。

保護具

- ◎ 呼吸用保護具、保護眼鏡、労働衛生保護手袋、皮膚の露出しない作業衣などを使用する。

応急処置

- ◎ 消火方法：散水、耐アルコール性泡消火剤
- ◎ 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し、休息させる。
- ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗眼し、眼科医の手当を受ける。
- ◎ 皮膚に付いた場合：大量の流水と石鹼で洗う。

名称	<h1 style="text-align: center;">トリクロロエチレン</h1> <h2 style="text-align: center;">C₂HCl₃</h2>
人体に及ぼす作用	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 吸入すると有毒である。 ◎ 強い眼刺激。 ◎ 皮膚刺激。 ◎ 眠気またはめまいのおそれがある。 ◎ 長期・反復暴露により中枢神経系の障害を起こす。 ◎ 遺伝性疾患、生殖能、胎児への悪影響のおそれがある。 ◎ 飲み込み、気道に侵入すると有害のおそれがある。 ◎ 発がん性が疑われる。
取り扱い上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◎ よく換気された場所でのみ使用する。 ◎ 容器は密栓して貯蔵する。 ◎ 取り扱い後はよく手を洗う。
保護具	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 呼吸用保護具、保護眼鏡、労働衛生保護手袋、皮膚の露出しない作業衣などを使用する。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し、休息させる。 ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗眼し、眼科医の手当を受ける。 ◎ 皮膚に付いた場合：大量の流水と石鹼で洗う。 ◎ 飲み込んだ場合：直ちに医師の診断、手当てを受ける。

名称	<h1 style="text-align: center;">メチルイソブチルケトン</h1> <h2 style="text-align: center;">C₆H₁₂O</h2>
人体に及ぼす作用	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 引火性の高い液体および蒸気である。 ◎ 吸入すると有毒である。 ◎ 眼刺激。 ◎ 呼吸器への刺激のおそれがある。 ◎ 眠気やめまいのおそれがある。 ◎ 長期・反復暴露により神経系の障害を起こす。 ◎ 発がん性が疑われる。
取り扱い上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 火気厳禁 ◎ 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 ◎ 容器は密栓して貯蔵する。 ◎ 取り扱い後はよく手を洗う。 ◎ 換気のよい場所でのみ使用する。
保護具	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 呼吸用保護具、保護眼鏡、労働衛生保護手袋、皮膚の露出しない作業衣などを使用する。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 消火方法：泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類 ◎ 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し、休息させる。医師に連絡する。 ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗眼する。刺激が続く場合は眼科医の手当を受ける。 ◎ 皮膚に付いた場合：大量の流水で洗う。

名称	<h1 style="text-align: center;">四塩化炭素</h1> <h2 style="text-align: center;">CCl₄</h2>
人体に及ぼす作用	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 吸入すると有毒である。 ◎ 皮膚刺激。 ◎ 強い眼刺激。 ◎ 長期・反復暴露により中枢神経系、肝臓、腎臓、呼吸器の障害を起こす。 ◎ 遺伝性疾患、生殖能、胎児への悪影響のおそれがある。 ◎ 発がん性が疑われる。
取り扱い上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 容器は密栓して貯蔵する。 ◎ 取り扱い後はよく手を洗う。 ◎ 換気のよい場所でのみ使用する。
保護具	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 呼吸用保護具、保護眼鏡、労働衛生保護手袋、皮膚の露出しない作業衣などを使用する。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し、休息させる。気分が悪いときは医師の処置を受ける。 ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗眼する。刺激が続く場合は眼科医の手当を受ける。 ◎ 皮膚に付いた場合：大量の流水と石鹼で洗う。

名称	<h1 style="text-align: center;">1,1,2,2-テトラクロロエタン</h1> <h2 style="text-align: center;">C₂H₂Cl₄</h2>
人体に及ぼす作用	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 飲み込むと有毒である。 ◎ 皮膚刺激。 ◎ 強い眼刺激。 ◎ 吸入すると有毒である。 ◎ 遺伝性疾患のおそれが疑われている。 ◎ 眠気またはめまいのおそれがある。 ◎ 長期・反復暴露により中枢神経系、肝臓、腎臓の障害を起こす。 ◎ 発がん性が疑われる。
取り扱い上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 容器は密栓して貯蔵する。 ◎ 取り扱い後はよく手を洗う。
保護具	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 呼吸用保護具、保護眼鏡、労働衛生保護手袋、皮膚の露出しない作業衣などを使用する。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 飲み込んだ場合：気分が悪い場合は医師に連絡する。 ◎ 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し、休息させる。 ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗眼し、眼科医の手当を受ける。 ◎ 皮膚に付いた場合：大量の流水と石鹼で洗う。

名称	<h1 style="text-align: center;">1,4-ジオキサン</h1> <h2 style="text-align: center;">C₄H₈O₂</h2>
人体に及ぼす作用	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 引火性の高い液体または蒸気である。 ◎ 吸入すると有毒である。 ◎ 皮膚刺激。 ◎ 強い眼刺激。 ◎ 呼吸器への刺激のおそれがある。 ◎ 眠気やめまいのおそれがある。 ◎ 長期・反復暴露により中枢神経系、肝臓、腎臓、呼吸器の障害を起こす。 ◎ 発がん性が疑われる。
取り扱い上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 火気厳禁 ◎ 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 ◎ 取り扱い後はよく手を洗うこと。 ◎ 容器は密栓して貯蔵する。
保護具	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 呼吸用保護具、保護眼鏡、労働衛生保護手袋、皮膚の露出しない作業衣などを使用する。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 消火方法：炭酸ガス、粉末消火剤、泡消火剤、乾燥砂類 ◎ 吸入した場合：新鮮な空気の場所に移し、休息させる。気分が悪い場合は医師の処置を受ける。 ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗眼する。刺激が続く場合は眼科医の手当を受ける。 ◎ 皮膚に付いた場合：大量の流水と石鹼で洗う。

名称	<h1 style="text-align: center;">ジクロロメタン</h1> <h2 style="text-align: center;">CH₂Cl₂</h2>
人体に及ぼす作用	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 飲み込むと有毒である。 ◎ 強い眼刺激がある。 ◎ 皮膚刺激。 ◎ 眠気およびめまいのおそれがある。 ◎ 長期・反復暴露により中枢神経系、肝臓の障害を起こす。 ◎ 発がん性が疑われる。
取り扱い上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 容器は密栓して貯蔵する。 ◎ 個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避ける
保護具	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 呼吸用保護具、保護眼鏡、労働衛生保護手袋、皮膚の露出しない作業衣などを使用する。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し、休息させる。 ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗眼し、眼科医の手当を受ける。 ◎ 皮膚に付いた場合：大量の流水と石鹼で洗う。 ◎ 飲み込んだ場合：口をすすぐ。気分が悪い場合は医師の手当を受ける。

名称	<h1 style="text-align: center;">テトラクロロエチレン</h1> <h2 style="text-align: center;">C₂Cl₄</h2>
人体に及ぼす作用	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 吸入すると有毒である。 ◎ 皮膚刺激がある。 ◎ 眼刺激がある。 ◎ 眠気やめまいのおそれがある。 ◎ 長期・反復暴露により肝臓、神経系、血液、腎臓の障害を起こす。 ◎ 遺伝性疾患、生殖能、胎児への悪影響のおそれがある。 ◎ 発がん性が疑われる。
取り扱い上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 容器は密栓して貯蔵する。 ◎ 換気のよい場所でのみ使用すること。 ◎ 取り扱い後はよく手を洗うこと。
保護具	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 呼吸用保護具、保護眼鏡、労働衛生保護手袋、皮膚の露出しない作業衣などを使用する。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し、休息させる。気分が悪い場合は医師の処置を受ける。 ◎ 目に入った場合：流水で十分に洗眼する。刺激が続く場合は眼科医の手当を受ける。 ◎ 皮膚に付いた場合：大量の流水と石鹼で洗う。 ◎ 暴露した場合：医師に連絡する。